

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	CoNovas（このぼす）		公表日		令和7年2月20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			安全に考慮し、利用児童数に見合った職員配置を行うとともに人員確保に力を入れていきます（午後利用児童は放課後デイとかぶるため工夫します）
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		地域へのチラシ配布、求人媒体への定期的な掲載など幅広く人材採用を推進しています	基準人員は配置しているものの、児童の特性や安全に考慮し、利用児童数に見合った職員配置を行うべく、さらなる人員確保に力を入れていきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			安全性を確保するためクッション対策など講じていきます 設備等の点検を定期的に行っていきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			感染症予防につながるため定期的に換気、消毒を行い、こども達が過ごしやすい空間づくりを目指します
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			お昼寝が必要な就学前児童にはゆっくり寝ることのできる別部屋があります 一人で宿題やタブレット学習などを行いたい児童には別部屋で支援員と集中して過ごすことのできるスペース確保に努めます
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		月に一度全職員参加でフロア会議を行っています	職員間の課題共有の場づくりをさらに検討していきます
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		特記事項等は常に口頭でのやりとりであるが、できている	昨年度実施済で、引き続き改善を進めています
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月に一度全職員参加でフロア会議を行っています	引き続き、現場課題を掌握し課題解決につなげる取組を進めます
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			昨年度実施済で、引き続き改善を進めています
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		できる限り必要な研修や学校見学会には参加するよう職員配置にも工夫しています	職員がより研修等に参加しやすいような環境整備を進めます
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			今後も適切に支援プログラムの作成が行えるよう努めてまいります
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			今後も支援計画書を作成するために必要なアセスメントを適切に行ってまいります
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		毎月月に一度のフロア会議で話し合う議題となっており、計画に沿ったケース記録等、児童指導員が行っています	今後も全職員で検討できるように努めてまいります
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			今後も支援計画に沿った支援が行えるよう努めてまいります
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		その日に利用した児童各々のケース記入は必ず行い、一人ひとりに特記事項を共有しています	今後も確認作業をおこたらぬように行ってまいります
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援に必要な項目が適切に設定された上で、具体的な支援内容を設定しています。	今後もガイドラインに基づき支援内容を検討してまいります
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		得意分野を活かして様々な活動プログラムが行えるよう日々職員間で意見を出し合っています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		得意分野を活かして様々な活動プログラムが行えるよう日々職員間で意見を出し合っています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成した上で支援を行っています	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に職員間で必ず打合せを行うようにしています	支援前に十分な時間を取りチームが連携して支援にあたるよう取り組んでまいります	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に限らず、特記事項は適宜伝え合うようにしています	児童ごとのケース記入は毎日欠かさず行っているが、振り返りについては支援終了後に行えていないことが多いので、できる限りその日のうちに他職員間で共有できるよう時間確保に努めます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		児童の様子については連絡帳の記入、送迎時にお伝えさせていただくなどその日のうちにお伝えしています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングについては半年に一度以上行っています	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理者は必要な支援会議には積極的に参加しています	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			連携して支援を行える体制は整っていますが、具体的な連携支援のための情報共有などに積極的に取り組んでまいります
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			学校や事業所どおし、特別支援学校での情報交換は定期的に行い、情報共有、相互理解を図れるような体制づくりに努めてまいります
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			保育所から幼稚園、また本年度より幼稚園から小学校へ入学する児童が数名居ますので情報共有、相互理解を図れるよう連携をとってまいります
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		見学会への参加や西児連への参加を通し、都度必要な情報共有を行っています	特定職員のみならず、職員が幅広く参加できるように取り組んでまいります
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		定期的に開催することはできていませんが、今後検討してまいります
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			児童の様子については連絡帳の記入、送迎時にお伝えさせていただくなどその日のうちにお伝えしています
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		関係機関からの情報提供は必要であると判断した場合には連絡帳に配布したり掲示を行っており、個別面談や保護者会も実施しています		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用者に対しては契約時、また更新時に行っており、職員にたいしてはフロア会議で共有しています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		必要に応じて個別懇談を行っています	個別懇談等で支援計画書作成に必要な話し合いができるよう、またお子様や保護者の意思尊重を優先いたします
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援計画書には必ず同意の署名をいただいております	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		連絡帳や送迎時のお伝えしたり、個別懇談等でお話しさせていただいております	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		半年に一度、保護者会を開催しています	保護者会の参加者がまだ少ないので、興味をもっていただけるような内容の企画、進捗に努めてまいります
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		基本的に管理者・児童発達支援管理責任者が適切に対応しています	お子様や保護者からの相談があった際には迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		日々の活動内容についてSNSで配信しています	情報発信についてはまだ回数が少ないので、配信回数を増やしていけるような仕組みづくりを目指します

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報書類については施設できる保管庫へ保管し、終業時には必ず施錠しています	引き続きお預かりした個人情報の取り扱いには十分留意してまいります
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			常に寄り添った意思疎通や情報伝達が行えるよう配慮に努めます
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		演奏会など計画はしたものの、感染症拡大の恐れもあり実施までに至っていないのが現状です。状況を踏まえ今後検討してまいります
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			実施内容等について利用者様へ十分なフィードバックができていないため、今後はタイムリーに報告してまいります
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			実施内容等について利用者様へ十分なフィードバックができていないため、今後はタイムリーに報告してまいります
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			お子様の特性や持病等については契約時に保護者の方よりご連絡いただいております。共有事項として職員一同把握できております。追加事項についてはグループLINEやフロア会議で確認できる体制を整えています
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			お子様のアレルギーについても契約時に保護者の方よりご連絡いただいております。共有事項として職員一同把握できております。追加事項についてはグループLINEやフロア会議で確認できる体制を整えています。エビベン講習会へ参加
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			安全計画のもと、定期的に訓練を実施し、（火災・地震・不審者）安全第一に支援が行えるよう努めております
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			定期訓練、安全点検の実施により、お子様の安全を第一に取り組んでいます
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			ヒヤリハットは職員の共有事項としてグループLINEや事務所に掲示し、再発防止に向けた取組についてはフロア会議でも話し合いを行っております
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			虐待防止についてはフロア会議でも話し合いを定期的に行っております
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			身体拘束についてもフロア会議で話し合いを定期的に行っております	引き続き、様々な状況や場面を想定し、身体拘束についての知識を向上させていく所存です